

TD4 組織のセキュリティポリシーに合致するクラウド環境の作り方

クラウド部会（提案責任者：西村浩二）

日時：12/12（木）13:45～15:15 場所：D会場（401—402）

主旨説明 西村浩二（広島大学）

タイトル：Microsoft 流組織のセキュリティポリシーに合致するクラウド環境の作り方

講演者：日本マイクロソフト株式会社 パブリックセクター事業本部文教営業本部

クラウドアーキテクト 中田寿穂

概要：クラウド時代のセキュリティ対策の難しさは、①複雑化し、動的に変化するインフラへの対応、②高度化・多様化するサイバー攻撃への対応などがあげられます。

ただし、セキュリティ課題の多くはオンプレミスと IaaS で共通のものであり、それらに対応するためには、従来の境界防御型セキュリティ(Perimeter model)では対応できないことは明らかです。本講演では Zero trust security model に基づいた Microsoft Secure インテリジェントプラットフォームに関してご紹介いたします。

タイトル：Amazon Web Services～ 各機関のセキュリティポリシーへの考え方 ～

講演者：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 パブリックセクター

櫻田武嗣

概要：本セッションではクラウドサービスをご利用いただく際に、皆様のセキュリティポリシーに沿った形でどうやって AWS を活用できるか、よくあるご質問、ご活用事例なども交えながらご案内いたします。

タイトル：学認クラウド導入支援サービスの活用

～ セキュリティポリシーに適合するクラウドの導入に向けて

講演者：国立情報学研究所 クラウド基盤研究開発センター

吉田 浩

概要：学認クラウド導入支援サービスは、大学・研究機関がクラウドを導入・利用する際の課題解決に役立つ情報の共有・流通を進める NII の支援サービスです。その中核は、クラウドサービスのセキュリティに関わる多くのチェック項目を含むクラウドチェックリストと、クラウド事業者各位の自社のサービスに関する回答です。ここでは、パブリッククラウドの導入において、組織のセキュリティポリシーに適合するクラウドサービスを検討・選択・調達する際に、これらの情報がどのように利用できるかをご説明いたします。

以上